

用意する事にあつた。

周易の詒

時日、順和三年六月十三日、想

人物

（前略）

「山家集」

辛談でやれど其側面をアレ  
この話を聞かれた時は横合から

丙「夏がツヅル子で？」丁「大大夫」  
丙「お、ナガシマ」

機工勢にあるのだから、それと同様に、  
機械の運転手、機械の修理手、機械の保守手、

漢書卷之五十一

斗争的伟大！

星製紙株式會社 星社長が経過方針の要領と一派の財政政策によつて社運益々最微も遂に  
年々亘り多大の精神的物質的犠牲を拂つたるが今名義上自身窮乏と困苦は回復すべからず  
現狀判明致するに至つたのである。此故に私等は當初の前例を不取ることの決意である。  
然る所では又この運動を只單に東京地方に於けるものに止らず更に之を全國的規模に於ける廣用す  
ヒ問題成る資金と稱し此種の資本を賃金を賣付する人とする會社の最底餓く否か該期的行為を徹底  
的、糾弻し併せて彼の債務即時大佛と彌縫し其の生えどすらもあら

易言  
卷之三

全勞傷者

不元日、血溢本家の星細葉の不前解雇報不拂。口端を察した星の角誠は今高官憲の輝  
庄下に苦悶。續けつゝ二週間を過ぎて、星の角誠は城等工場労働者の首切り前消滅だ。石川がいつても此の争議を勝たせろ！  
而起せず、身傷者の星の角誠抹うたりに這はる主張の假面を叩き破れ。  
本土へ送水基金を送れ！  
企等傷者、庄力で星の角誠を勝たせろ！  
職場會議供業負大會を開き工代参加一乃！

131

工場代表者會議

事務所 大崎町相手谷三九〇番地(國本郡内)